

2022年12月23日～12月30日（7泊8日）

コンテンツツアーリズム in 韓国

19131014 山愛良 & 19132033 武田美優

結果報告

- 実際のロケ地を廻ることで、観光客層が詳しく理解できた。
 - ➡ ロケ地は外国人観光客だけでなく、韓国人の幅広い層（家族連れ～カップル）にも人気がある。
- 世界遺産での多言語対応はほとんどなかった。
 - ➡ ほとんどが韓国語だけの案内（看板等）であったが、一部に日本・中国・英語の併記があった。
- 日韓のコンテンツツーリズムの違いが詳しく理解できた。
 - ➡ 韓国では、ドラマの撮影場面がわかるような看板が多数設置されていた。➡ 現地主義
 - ➡ 生活場所と観光地の区分がなされていた。
 - ➡ 日本では、看板の設置等は少ないが、聖地巡礼マップの作成・配布が行われている。➡ 宣伝主義

ex.韓国滞在中、札幌で『First Love 初恋』の聖地巡礼マップ配布のニュース有。

報告

- 関連商品が韓国社会に浸透しているかは確認できなかった。
 - ➡ 作品のヒット期間に連動するため、短期的な販売である。
 - ➡ 主演俳優のファンミーティングで限定販売されるケースが多い。



〔韓国のコンテンツツーリズムの手法は…〕

ロケ地（現地）で、ロケの状況を明確に示すことにより、コアなファンだけでなく、そこを訪れた一般的な観光客をファンに取り込んでいる。

観光地



ドラマ等

（双方向からのアプローチ）



1日目（12月23日）

- 当日は雪が降っており、飛行機が飛ぶか不安であったが、無事に到着。
- 飛行機、鉄道、地下鉄など、さまざまな手段で宿泊先に到着。
- 空港のコロナ対応はスムーズであった。（10分）



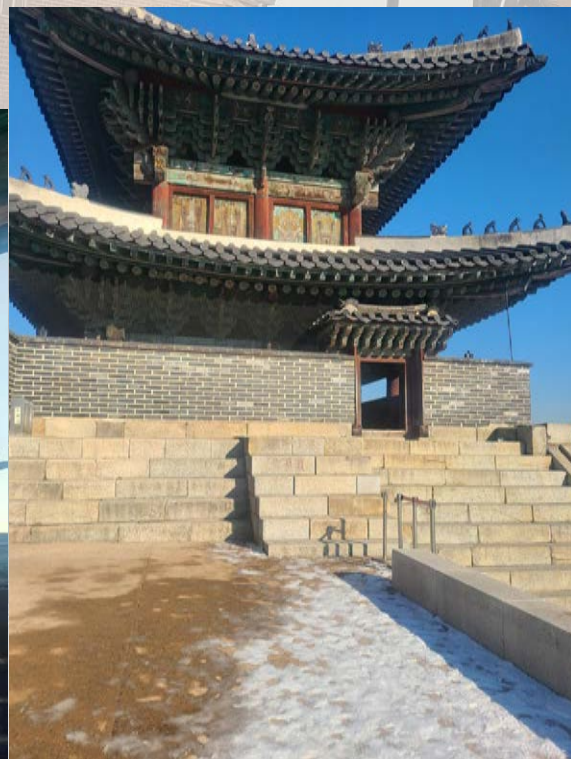


訪問地 1

世界遺産：水原
ドラマ：『ウ・ヨンウ弁
護士は天才肌』

2日目（12月24日）

- ・ ソウル駅は非常に大きく圧倒された。
- ・ 国内外の人が利用する駅だけあって、人が多かった。多言語（日本・中国・英語）で表示があったが、分かりにくかった。➡ 標示場所の問題
- ・ 世界遺産「水原華城」は想像以上に大きく全て廻るだけでも時間がかかった。多言語対応なし。
- ・ 『ウ・ヨンウ〜』キンパの店（「風車」）は観光客でにぎわっていた。➡ 主に韓国人
- ・ ドラマを見て水原を訪れている人が多数。



訪問地2

撮影地：江陵
ドラマ：『トッケビ』
『ボーイフレンド』



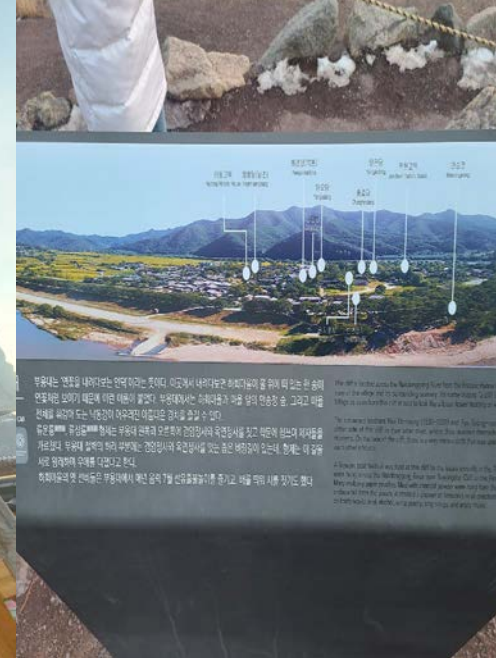
3日目（12月25日）



- トッケビの撮影地を見に、江陵へ行った。
- 当日は波が高く、撮影場所まで入ることが出来なかったが、多くの観光客が訪れていた。 ➡ 主に韓国人
- 「トッケビ」だけでなく「ボーイフレンド」のロケ地でもあり、ドラマの看板が設置されていた。 ➡ ロケ場所の看板
- コンテンツツーリズムとして成立していると感じた。 ➡ 訪問客の満足感

訪問地 3

世界遺産：安東
ドラマ：『ミスター・サンシャイン』



4日目（12月26日）

- ・ 江陵から安東へ列車で移動した。
- ・ 「ミスター・サンシャイン」のロケ地である「河口村」では韓国の昔の建物や文化を見ることができた。
- ・ 撮影地は世界遺産であるが、現在も生活している人がいる。 ➡ 生活区域への立ち入りは禁止
ドラマ撮影地との区分をしっかりとっている。
- ・ 歴史的展示室があり、多言語対応となっていた（英語・日本語・中国語のみ）。





トラブル発生！

田舎からソウルに戻れない。

5日目（12月27日）

- 安東からソウルに順調に行けると思ったが・・・駅に向かうタクシーが全くなかった。韓国の電話番号がないため、アプリでも対応できず。
➡ 現地の人に道を聞いたところ、タクシーを呼んでくれた。
- 韓国の人の優しさを感じた1日だった。
- ソウルでは『ウ・ヨンウ〜』の撮影地である駅三駅に行った。
- 予定変更となったため、市内散策をした。
➡ 外国人観光客が戻っている様子。





訪問地 4
ロケ地：ソウル
ドラマ：『イカ
ゲーム』

6 日目（12月28日）

- 本学の趙先生と待ち合わせ、ソウル散策。
- 「イカゲーム」のロケ地である「良才市民の森駅」観察。
 - ➡ ロケ地である地下鉄駅には、撮影の案内板はなし。（公共的な場所）
 - ➡ 観光客は私たち以外にはいなかった。
- 土産店には「イカゲーム」で使用した仮面あり。
 - ➡ 新しいドラマであるため、土産として購入されている。



訪問地 5

ロケ地：ソウル
ドラマ：『梨泰院クラス』『私の名前はキム・サムスン』等



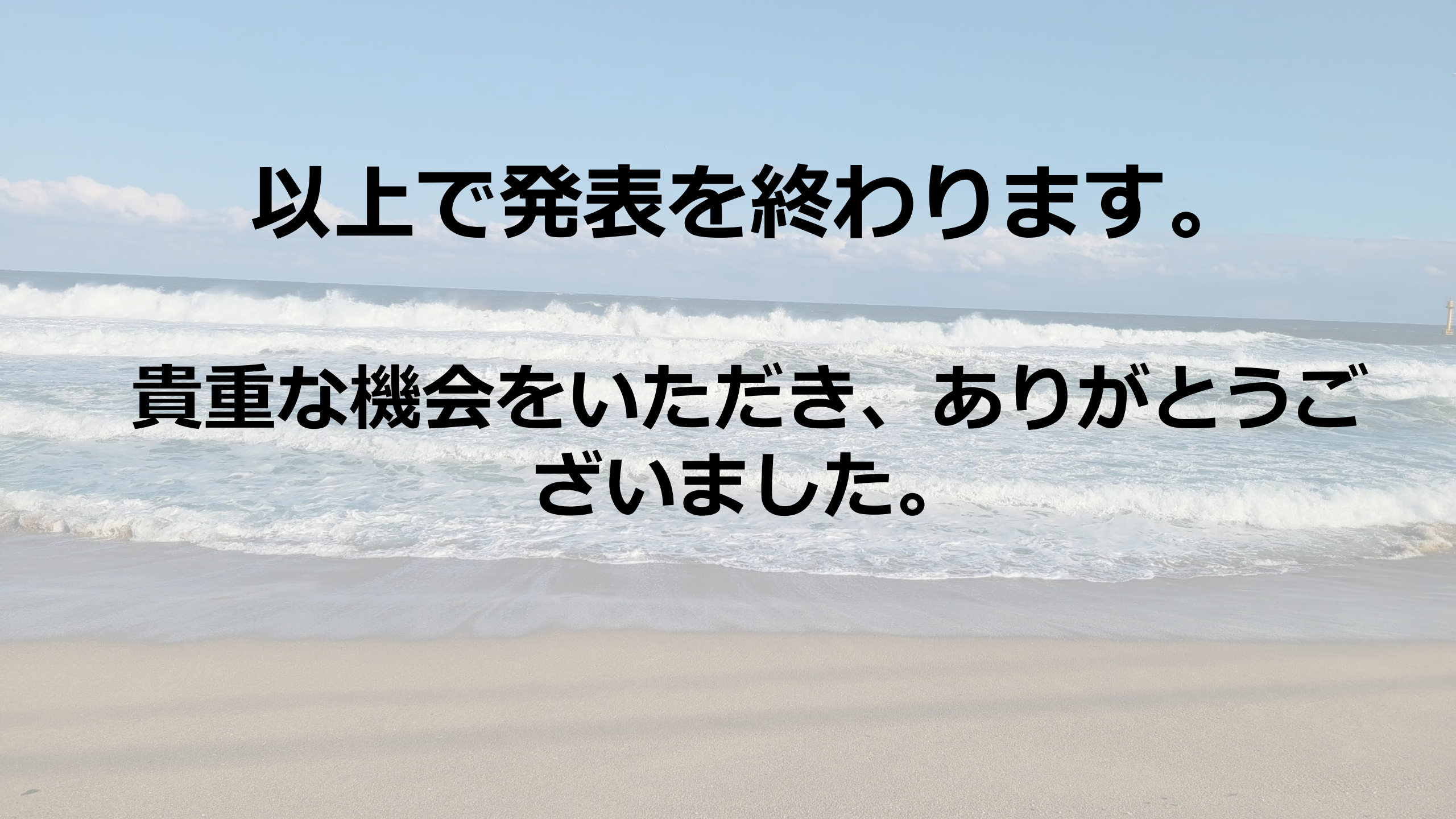
7日目（12月29日）

- ソウルを散策
- 色々なドラマのロケ地になっている「南山公園」を見学。
 - ➡ ソウル市内は繁華街がロケ地になっているため案内なし。
 - ➡ 公共的な場所（南山公園）は、撮影の表示なし。
 - ➡ 転倒事故があったため、梨泰院の観察は中止。
- 帰国に向け、ソウルからウンソへ移動。



最終日（12月30日）

- ウンソから仁川空港へ（鉄道で移動）
- 仁川空港から日本へ
- 往復ともに満席だったが、日本人は非常に少なく、韓国人観光客ばかりだった。➡ 札幌への観光客多い。
- 新千歳空港のコロナ対応は混雑していた。（30分以上）



以上で発表を終わります。

貴重な機会をいただき、ありがとうございました。